

# FMA (Fugl-Meyer Assessment) 記録用紙



原著 : Fugl-Meyer AR, et al. Scand J Rehabil Med. 1975;7(1):13-31.

氏名 ( )	ID ( )
年齢 ( ) 歳 性別 ( M / F )	診断名 ( )
発症日 ( 年 月 日)	麻痺側 ( 右 / 左 ) 病期 ( 急性 / 亜急性 / 慢性)

## FMA-UE 評価領域 (合計66点) / FMA-LE 評価領域 (合計34点)

FMA-UE (上肢)		FMA-LE (下肢)	
A. 肩・肘・前腕	36点	E. 股・膝・足 (運動)	17点
B. 手関節	10点	F. 協調性・速度	6点
C. 手指	14点	反射活動	4点
D. 協調性・速度	6点	関節可動域・疼痛 等	別途

## FMA-UE (上肢) スコア記録

評価日					
評価者					
A. 肩・肘・前腕 (/36)					
B. 手関節 (/10)					
C. 手指 (/14)					
D. 協調性・速度 (/6)					
合計 (/66)					

## FMA-LE (下肢) スコア記録

評価日					
評価者					
E. 股・膝・足 運動 (/17)					
F. 協調性・速度 (/6)					
反射活動 (/4)					
合計 (/34)					

## 変化量の判定

判定項目	2回目→1回目	3回目→2回目	4回目→3回目	5回目→4回目
対象 (UE / LE)				
変化量 (点)				
MDCを超えたか (Y/N)				
MCIDを超えたか (Y/N)				

### SEM・MDC・MCID 参照値 (病期別)

指標	病期	MDC	MCID	出典
FMA-UE (/66)	早期亜急性期	—	7～13点	Lundquist (2017)
	亜急性期	—	約4点	Page (2012)
	慢性期	5～7.2点	4～7点	Lin (2010) / Page (2012)
FMA-LE (/34)	慢性期	3.6～3.8点	約6点	Hervé-Colas (2026)

### FMA-UE 重症度分類 (Woytowicz et al., 2017 | 4段階)

スコア	重症度	臨床的解釈
0～15点	重度	共同運動パターンが優位、分離運動はほぼ困難
16～34点	中等度	分離運動が部分的に出現
35～53点	軽度	分離運動が広く可能、速度・協調性に課題
54～66点	最軽度	日常生活での上肢使用がほぼ可能

### 特記事項 (代償動作・痙縮・疼痛・努力性・気付き等)

.....

.....

.....

本記録用紙はBRAIN独自に作成した臨床補助ツールです。詳細な採点基準は原著論文を参照してください。教育・臨床目的での使用を想定しています。 出典：Fugl-Meyer (1975) / Woytowicz (2017) / Lin (2010) / Page (2012) / Lundquist (2017) / Hervé-Colas (2026)